

資料 2

行動綱領（採択：1995 年（平成 7 年）9 月（第 4 回世界女性会議））（仮訳） における開発途上国の諸問題と男女共同参画に関する課題との関係に関する記述

11. 冷戦の終結は国際的な諸変化をもたらし、超大国間の競争を減少させた。世界的規模の武力紛争の脅威が減少し、国際関係が改善して国家間の平和への展望が増してきている。しかし世界的規模の紛争の脅威は減ったものの、侵略戦争、武力紛争、植民地化又はその他の形態の外国による支配及び占領、内戦及びテロリズムが依然として世界の多くの地域を苦しめている。特に武力紛争の際には、女性の人権に対する重大な侵害が発生し、とりわけ民族浄化政策の下では、殺人、拷問、組織的なレイプ、強制的な妊娠及び強制的な中絶まで起こる。

16. いくつかの地域の政治的な不安定とともに、広範な経済不況が、多くの国々の開発の目標を後退させる原因になってきた。これは、言語に絶する貧困の拡大をもたらした。極端な貧困の中で暮らす 10 億人余りのうち、女性が圧倒的多数を占めている。あらゆる部門における急速な変化と調整の過程もまた、女性への特別な影響を伴う失業及び不完全就業の増加に導く結果になった。多くの場合、構造調整計画は、弱く不利な立場のグループや女性に対するマイナス影響を最小に抑えるように計画されてきてもいなければ、経済及び社会活動からの彼らの疎外を防止することによって彼らに対する積極的な効果を保障するように計画されてきてもいない。多角的貿易交渉のウルグアイ・ラウンドの最終議定書（注 10）は、貿易自由化と開かれた活動的な市場へのアクセスの重要性とともに国家経済間の相互依存が増大しつつある点を強調した。いくつかの地域では、多額の軍事支出も見られた。いくつかの国の政府開発援助（ODA）は増加したものの、全体としては、最近、これは減少してきている。

34. すべての人間の生活に影響を及ぼす持続的な環境悪化は、しばしば女性の側に、より直接的な影響を与える。女性の健康と生計は、公害、有毒廃棄物、大規模な森林伐採、砂漠化、干ばつ、土壌の枯渇、沿岸及び海洋資源の枯渇によって脅かされ、女性及び少女の間で環境に関連した健康問題の発生が増加し、死亡例さえ報告されている。最も影響を被っているのは、その生計と日常生活の手段が持続可能な生態系に直接依存している農村女性と先住民女性である。

37. 世界保健機関（WHO）の推定によれば、後天性免疫不全症候群（エイズ）の患者数は 1995 年初めまでに累計で 450 万人になったという。ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が初めて診断されて以来、推定 1,950 万人の男性、女性及び子どもがこのウイルスに感染しており、10 年後までには新たに 2,000 万人の感染が見込まれている。新しい発生例では、女性は男性の 2 倍も感染のおそれが高い。エイズ流行の初期段階では、女性の感染は多くなかった。しかし今では、約 800 万人の女性が感染している。若い女性や青年が特に感染しやすい。2000 年までに 1,300 万人以上の女性が感染し、400 万人の女性がエイズ関連の疾患によって死亡すると推定されている。それに加えて、毎年 2 億 5,000 万人の性感染症（STD）の新たな患者が発生することが見込まれている。HIV/AIDS（エイズ）を含む性感染症の感染率は、特に開発途上国の女性及び少女の間で、おそろしい勢いで増加しつつある。